

[1] デンソー、イスラエルに新たなサテライト研究開発チームを設立

2018年3月28日 10:21 (グリニッジ標準時)

研究開発チームが現地スタートアップ企業と協力、自動運転やサイバーセキュリティ、AIなどの分野の先進技術開発に取り組む



デンソーがイスラエルにサテライト研究開発チームを設立、自動運転やサイバーセキュリティ、AI（人工知能）などの分野の先進技術開発を加速させることを発表した。この新しい研究開発チームは来月稼働を開始、現地スタートアップ企業と協力し新たなオートモティブ技術の開発をスピードアップする。

重要ポイント：デンソーは昨年、研究開発機能を日本国外に拡大することを決定、主要市場にサテライト研究開発チームのグローバルネットワークを確立し新たなオートモーティブ技術の開発を加速している。サテライト研究開発チームはスタートアップなど技術企業や現地の大学、研究機関、その他パートナーと協力し、エコモビリティや安全なコネクティビティ、自律運転、またライドヘイリングやカーシェアリングなど未来のモビリティサービスといった分野のソリューションを開発する。デンソーは2017年11月にこうしたサテライト研究開発チームの一つをフィンランド・ヘルシンキに設立した。

イスラエルはコネクティビティやサイバーセキュリティ、自律運転といった分野の最新技術に取り組むスタートアップ企業の主要ハブとして浮上してきている。自動車メーカーや大手サプライヤはイスラエルにオフィスを設立、破壊的技術に取り組むスタートアップ企業を探し出して投資している。デンソーはイスラエルのサテライト研究開発チームを活用し、先進オートモーティブ技術の開発を自社内で、また現地の企業や大学との共同研究でも進めていく。

デンソーは日本での研究開発機能の強化も進めている。今年1月、同社は東京都港区に新たな研究開発オフィスを[設立](#)しADAS（先進運転支援）や自動運転、コネクティッド自動車技術などの研究開発を進める計画を発表した。この計画のもと、デンソーは愛知県の本社と東京の既存オフィスで現在行われている研究開発活動の一部を新しい拠点に移管する。新オフィスは今年4月に従業員約200名で稼働開始の予定だ。

[2] KYB、ドイツにテクニカルセンターを新たに設立

2018年4月2日 12:31 (グリニッジ標準時)

欧州での OEM 事業拡張に貢献



KYB はドイツ・ミュンヘンに「ヨーロッパテクニカルセンター」を設立、欧州地域のオートモーティブ顧客の需要により効果的に対応できることを目指す、と発表した。この新たなテクニカルセンターは欧州顧客のニーズを取り込み、KYB の製品開発機能を強化するものと期待されている。新センターは4月3日(火)に稼働を開始する。

重要ポイント： KYB は緩衝装置やサスペンションシステム、パワーステアリングシステム、CVT (連続可変伝動装置) 用ベーンポンプなどの大手サプライヤーである。同社によると、欧州での新センター設立の背景にあるおもな目的の一つは「この地域にある既存の技術情報を

集約し次世代のオートモーティブ技術開発を推進する」ことだという。KYB では、この新センターが同社の OEM 事業拡張と顧客ニーズへの迅速な対応、次世代製品開発のためのシステム強化に貢献するものとしている。新センターは同社の欧州本社である KYB Europe GmbH (KEU) の支社としての機能も備える。

[4] Cinemo とパナソニック、インフォテインメントシステムで協力強化

2018 年 2 月 27 日 07:43 (グリニッジ標準時)

Cinemo、パナソニックの Android ベース・プラットフォーム上で自社の車載エンタテインメント専門技術を活用



Cinemo とパナソニックがインフォテインメント分野でのパートナーシップを拡張することを、Cinemo が発表した。パートナーシップ拡張の一環として、Cinemo はパナソニックの Android ベース・プラットフォーム上で自社の車載エンタテインメント専門技術を活用、Android ベース・プラットフォーム向けに劇場のようなマルチメディア体験を提供する。

「Cinemo が提供するマルチオペレーティングシステムやクロスプラットフォーム対応の幅広い統一性により、パナソニックは高性能でクオリティ重視のエンタテインメントを可能にする車載 Android ソリューションを、自信を持って構築することができる」とパナソニックのオートモーティブ・インフォテインメントシステム事業部ディレクターの Susumu Ibaraki 氏は述べている。

重要ポイント： Cinemo とパナソニックは先月、IVI（車載インフォテインメント）プラットフォーム開発で[提携する](#)と発表。両社は現在、自動車メーカー向けに複数の IVI プロジェクトを展開しており、そのうちいくつかは既に市場に向けて出荷されている。「われわれは Android ベースのインフォテインメントシステムについてパナソニックと緊密に協力し、拡張性とコネクティビティを備えた自動車エコシステムで高まる技術的需要に応えられることを大変喜ばしく感じている」と Cinemo の販売担当 VP である Elif Ede 氏は述べている。

Cinemo の専門領域はオートモーティブクラスのマルチメディアの再生、ストリーミング、メディア管理、コネクティビティ用ミドルウェアなどである。Cinemo は、同社の拡張可能な IVI ソリューションが Apple CarPlay や Android Auto、Microsoft Windows CE、BlackBerry QNX、GENVI、Linux などあらゆる OS と互換性があると述べている。Cinemo のソリューションはエントリークラス、ミドルクラス、プレミアムクラスの車載インフォテインメントシステムのヘッドユニットや後部座席ユニットにシームレスに統合できる。Cinemo は先月、米国ラスベガスで開催された CES 2018 で最新の[車載インフォテインメントソリューション](#)を展示した。展示されたソリューションは Distributed Playback、Distributed Media Management、Distributed Cloud、Distributed Connectivity などで、併せて 8k Ultra HD 技術も紹介された。パナソニックは自動車業界向けのインフォテインメントおよびコネクティッドカーソリューションの大手サプライヤーである。今年の CES（米国ラスベガス開催）で、パナソニックは同社の[最新車載インフォテインメントソリューション](#)を紹介したが、これは次世代 Android OS である Android 8.1 Oreo によるものである。パナソニックによると、この最新車載インフォテインメントソリューションは同社の SkipGen IVI プラットフォームに基づいており、ドライバーが Android Automotive アプリケーションにアクセスしストリーミングメディアのような組み込み Google コンテンツやサービス、ナビゲーション、環境設定などの車両機能を表示できるようにする。これら機能はすべて Google Assistant で制御することができる。

[5] アイシン精機、Idein と AI 分野協業 で事業・資本提携

2018年3月19日 12:45 (グリニッジ標準時)

Idein はアイシン精機との協業により事業基盤とオートモーティブ分野での存在感を強化



アイシン精機と Idein が AI（人工知能）技術搭載製品開発のための戦略的協業に合意した。これにより、アイシン精機は Idein に 5%の株式投資を引き受けることに同意している。

重要ポイント：2015 年創業、東京に本社を構える Idein は AI モデル設計を専門としており、こうしたモデルを量産型マイクロコンピュータに組み込む技術力を有している。Idein はアイシン精機との協業により事業基盤とオートモーティブ分野での存在感を強化する。日本で第二のオートモーティブ分野サプライヤであるアイシン精機は、ゼロ排出や自動運転、コネクティッドカーなどの新興オートモーティブ技術に重点を置いている。同社はドライバー監視システムなど画像認識関連製品で既に Idein と提携している。

日本のサプライヤはスタートアップ企業への投資や、コネクティビティ、エレクトロモビリティ、自律運転、未来のモビリティサービスなど新興分野での存在感強化といった取り組みを進めている。今月初めにはデンソーがルネサスエレクトロニクスの株式保有比率を 0.5% から 5%に引き上げることに[合意](#)しており、以前のものより進化し複雑化しスケールも大きくなった自動運転システムを含む、さまざまな車載システムの開発の加速を目指している。